

作業科学にまつわる研究法オンライン研修会

質的研究法を使って学ぶ

～作業の経験と意味～

日 時

2026年 3月8日(日) 10:00-12:00

参加費：日本作業科学学会会員：2000円 非会員：3000円

和田 峰子 氏

ダルハウジー大学作業療法学修士課程で、家事・育児・仕事に対する価値観を研究し、質的研究に魅せられる。その後、ブリティッシュコロンビア大学で、リハビリテーション科学博士号を取得。作業バランスの意味、高齢者施設における「家庭」の意味などについて研究し、2022年から広島大学で研究・教育に従事。現在は老老介護や高齢者とテクノロジーの研究に励んでいる。



講師

内 容

今回の研修会では、以下の内容について学べます

- 1) 質的研究について
- 2) 作業科学における質的研究の役割と可能性
- 3) 作業の経験や意味を探索した研究の紹介
(当事者が語る作業の意味や経験、作業の社会的意味)

参加費のお支払い
方法は別途
お伝えいたします

申込み
しめ切り
2/28(土)

- ・作業の研究に興味のある方
- ・作業科学や研究法に興味のある方
- ・すでに研究を始めたけれど作業との結び付け方が分からぬ方など

作業の研究に興味のある方は、是非ご参加ください

右記のQRコード、または、以下のURLからお申し込み下さい

申し込みフォーム：

<https://forms.gle/1CWkY3eHzwtkZRzn7>

お問合せ先：nra20749@gmail.com (研修会事務局：中塚聰まで)

申込み
お問合せ先

